

第51回 運動方針を満場一致で採択 定期大会 医療・介護・福祉の充実で安全・安心の社会へ

21年度役員選挙結果

	信任	不信任
執行委員長 中村 和代	28	0
副執行委員長 遠藤 祐子	28	0
副執行委員長 林 晶康	28	0
書記長 永島 達哉	28	0
書記次長 福隅 雄大	28	0
執行委員 中川 圭	28	0
執行委員 小沢 義憲	28	0
執行委員 鈴木 博子	28	0
執行委員 佐伯 光重	28	0
執行委員 内山美和子	28	0
執行委員 高松もと子	28	0
執行委員 田原 幸子	28	0
会計監査 野月 威則	28	0
会計監査 松島 昌信	28	0

21年度ストライキ権確立投票結果

賛成 28票 反対 0票

9月4日13時より、船橋勤労者市民センターをメイン会場に、コロナ禍の下であることを考慮し、委任制度の導入、Zoomでの参加併用で、千葉県医労連第51回定期大会を開催しました。運動方針案、20年度決算・21年度予算とも満場一致で採択されました。また、21年度役員投票はすべての候補者が過半数以上の信任を得て信任され、ストライキ権確立投票は賛成が過半数を超えストライキ権は確立されました。

執行部からの方針提案

執行部からの方針提案では、コロナ禍2年目となる1年間、厳しい職場状況は続き、集まらないという中でも、それぞれの組織が工夫しながら奮闘した1年であったこと、が総括として示されました。

そして、コロナを一刻も早く収束させ、コロナ収束後に安全・安心の社会を確立する産別方針を確立することが51回大会の任務であることが強調されました。

代議員の発言(要旨)

★本多代議員(勤医労)
行政からのコロナ患者さんの受

け入れを求める圧力が強まっている。しかし、構造上、体制上等から受け入れ困難な医療機関もある。そういう職場では、職員が「ここで働き続けられるのか」と悩んでいる実態もある。経営者に対し、自治体の実態を踏まえ意見を言うように求める必要がある。

★数藤代議員(勤医労)

21春闘の支援に感謝。経営再建プランと称し、賃下げで経営困難を乗り切る姿勢は容認できない。労働協約を守らなくてもいいとなれば、全体の労使関係に影響する。勤医労のたたかいに止めず、支援を得ながらたたかいを継続する。

★三谷代議員(成田日赤労組)

Rプランの導入で、来年4月から退職金等を含む賃金大幅削減が進められようとしている。すでに、大量の退職者が出ている。このコロナ禍で尚更許されない。他医療機関に広がる恐れもある。Rプランを跳ね返す、産別闘争をお願いしたい。

★佐々木代議員(今井町診労組)

5月の団交で、常勤看護師1名の増員を実現した。しかし、事務職員の不足は解消されていない。ワクチン関連で問い合わせも殺到しており、残業増え、休みも取れない。事務職の増員も実現したい。

★鈴木代議員(成田日赤労)

Rプランは、退職金の改悪だけでなく、定年退職で現状の70%、自己退職で60%という酷い内容。何としても跳ね返したい。

★小沢代議員(東葛分会)

昨年度は、ストライキも構えて年間一時金の水準を戻すことができた。コロナ受け入れ病床も増え厳しさは増している。さらに条件整備に奮闘したい。

★鈴木代議員(勤医労)

コロナ対応で業務が増えている。人員数が追いついていない。団交で人員増、業務軽減を求めている。人員を確保するためには、まともな賃金・一時金等の確保必要。

★宮津代議員(全労災千葉支部)

夏季一時金は一律10万円の上積

みを勝ち取った。コロナ感染者数は増えている。一般病棟を閉鎖するなど対応しているが、受け入れていない病棟も再編成などで厳しい。新卒の退職が増えている。

★星野代議員(成田日赤労組)

青年部活動がコロナ禍で困難になっている。自分の病棟では、新人に説明し2名加入した。夜勤が月12回が増えてきており、退職者も増加している。第2子出産時に「育児を3ヶ月もあげられない」と言われ、止む無く1ヶ月取得した。事務折衝や団交で改善を求めていく。

★内山執行委員(千歳会労組)

相変わらず施設長が嫌がらせのメールを送ってくる。今後、不当降格、差別賃金、名譽棄損等の闘争をすすめる。首都圏青年ユニオン連合会の掲示物を見て「この法人はおかしい」と介護職が退職した。

★磯谷代議員(全医労千葉地区)

団交でコロナ手当の支給を勝ち取った。「賃金の引き下げを安易にしてはいけない」ということだ。

★児玉代議員(勤医労)

青年部は、コロナ禍でも工夫しながら活動をしている。しかし、実際に交流できない状況は厳し。今後も頑張る。支援をお願いしたい。

次号以降、執行部の総括答弁・まとめとあわせて、今後の具体的方針提起を掲載していきます。